

施策分析シート（平成29年度）

No1

施策名	地域活動の支援と人材育成	施策No	10-01	部課名	区民生活部区民課			
				課長名	秦野 内線 2510			
関連部課名	区民生活部戸籍住民課、地域文化スポーツ部生涯学習課							
行政評価	分野	文化創造都市						
事業体系	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成					
目的	あらゆる世代の区民があたたかい地域づくりを目指して楽しく集い、区民と行政が一体となって相互交流を促進し、次代の地域活動の担い手となる人材を発掘・育成する。							
指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文			
		26年度	27年度	28年度				
	地域の人との交流の充実	2.67	2.67	2.71		お住まいの地域の方と交流することで充実感が得られていると感じますか？		
	地域に頼れる人がいる実感	2.63	2.65	2.71		お住まいの地域に頼れる人がいると感じますか？		
標	施策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明		
		26年度	27年度	28年度	29年度 見込み		目標値 (38年度)	
	地域の活動や行事に参加している人の割合	34.90	38.80	36.80	38.00		45.00	世論調査の地域活動・行事への参加状況の内、いつもと時々合計
	町会加入率	63	63	59	60		65	加入世帯数 / 区内世帯数
	修了生が新たに立ち上げた地域活動団体数（計）	15	20	25	30		75	
	荒川コミュニティカレッジ修了生（累計）	139	178	222	255		633	

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目	27年度	28年度	差額	勘定科目	27年度	28年度	差額
	給与関係費		91,583		地方税等		0	
	物件費		19,061		国庫支出金		0	
	維持補修費		0		都支出金		0	
	扶助費		0		分担金及び負担金		0	
	補助費等		115,574		使用料及び手数料		0	
	減価償却費		0		その他		24,240	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		行政収入合計(a)		24,240	
	賞与・退職給与引当金繰入額		7,075		行政収支差額(a)-(b)=(c)		209,053	
	その他行政費用		0		金融収支差額(d)		0	
行政費用合計(b)		233,293		通常収支差額(c)+(d)=(e)		209,053		
特別費用(g)		0		特別収入(f)		0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0		当期収支差額(e)+(h)		209,053		
貸借対照表	勘定科目	27年度	28年度	差額	勘定科目	27年度	28年度	差額
	流動資産				流動負債		3,967	
	収入未済		0		還付未済金		0	
	不納欠損引当金		0		特別区債		0	
	その他の流動資産		0		賞与引当金		3,967	
	有形固定資産		0		その他の流動負債		0	
	土地		0		固定負債		50,345	
	建物		0		特別区債		0	
	建物減価償却累計額		0		退職給与引当金		50,345	
	工作物等		0		その他の固定負債		0	
	工作物等減価償却累計額		0		負債の部合計		54,312	
	無形固定資産		0		正味財産		54,312	
	建設仮勘定		0		正味財産の部合計		54,312	
その他の固定資産		0		負債及び正味財産の部合計		0		
資産の部合計		0						

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>荒川区では、多くの世帯が町会に加入しており、概ね60%の加入率で推移している。一方で、世論調査の結果によると「地域活動・行事に参加していない」割合は52.4%となっている。</p> <p>これまで荒川区の地域活動を担ってきた町会等の各種団体では、その中核を担う方々の高齢化が進んでいる。</p> <p>平成22年度に開講した地域活動の学びの場である「荒川コミュニティカレッジ」では、修了生は平成29年3月末で222人となり、その修了生が中心となって本カレッジで出会った仲間と共に、地域活動団体を立ち上げ、その数は25団体となった。</p> <p>区では、荒川区社会福祉協議会のボランティアセンターの分室である「地域活動サロンふらっと・フラット」と連携し、団塊世代の退職後の社会参加等を支援している。</p> <p>財務諸表の項目では、行政コストとして補助費が大きな割合を占めており、「町会・自治会助成費」など、町会に対する補助に取り組んでいる。</p>
課題	<p>全世帯の約60%が町会に加入しているものの、実際に活動を行ったり地域の行事に参加したりする人は一部となっており、積極的な参加を促していく必要がある。</p> <p>町会等の地域団体に若手の加入を促進するとともに、既存メンバーのスキルアップを図るなど、将来、組織の中核を担う人材の育成が求められる。</p> <p>「荒川コミュニティカレッジ」での学びを生かし、より積極的に地域活動に参加できる場や機会を創る必要がある。</p> <p>より多くの区民が地域活動に積極的に参加するためには、福祉や子育て等の分野はもとより、語学、園芸、手芸、演芸など、専門分野や得意分野等を生かせるボランティア活動の場が必要である。</p>
今後の方向性	<p>様々な機会を通じて地域活動や区政についての情報を区民に提供し、ライフステージに応じて、PTA、ボランティア、町会活動、民生委員などの地域活動に参加できるよう、きっかけづくりを進める。</p> <p>荒川区の先人たちが築いてきた「地域力」を若い世代につなげるため、町会活動等の地域活動における後継者の発掘・育成のサポートなど、それぞれの団体の実情に応じた支援を行う。</p> <p>地域活動等に関する「学び」のニーズを的確に捉え、荒川コミュニティカレッジ等において多様な講座を実施し、地域の活動内容を主体的に学ぶ機会を提供するとともに、これまでの「学び」や「経験」を地域で生かせるよう、活動の場や地域との結び付きをコーディネートする。</p> <p>これまでのボランティア活動に加え、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催も見据えて、通訳、観光案内、環境美化等のボランティアを発掘・育成するとともに、ボランティアを行う区民自身の生きがいづくりや健康づくりにもつながるよう、多岐に渡る地域活動を支援する。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
重点的に推進	重点的に推進	荒川区の強みである「地域力」を更に強化するためにも、重点的に推進する必要がある。

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業No	決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		27年度	28年度	29年度	30年度	
町会・自治会助成費	04-01-04	54,071	54,612	重点的に推進	重点的に推進	区が行政サービスを実施する上で、コミュニティ活動の中核を担う町会・自治会の協力は不可欠であり、優先度は極めて高い。
町会連合会助成費	04-01-05	3,046	3,119	推進	推進	コミュニティ活動の中核として、行政活動全般について協力を得ており、優先度は高い。
町会・自治会活動助成費 (イベント等助成)	04-01-06	23,457	24,187	推進	推進	地域コミュニティの担い手である町会・自治会の振興を図ることは、次代を担う世代にその活動を引き継いでいく上で重要であり、優先度は高い。
町会・自治会会館建設助成費	04-01-07	17,330	28,231	推進	推進	町会活動の拠点となる町会事務所の建替えを促進し、コミュニティ活性化に寄与する事業であり、優先度は高い。
町会法人化助成費	04-01-08	0	0	推進	推進	法人化することで町会・自治会の財産管理や活動を円滑に進めることができるため、優先度は高い。
町会連合会活動推進費	04-01-09	270	209	推進	推進	区との意見交換や町会長相互の交流が促進されることから、優先度は高い。
地域活動促進費	04-01-10	1,890	1,890	推進	推進	地域一体で子どもを中心としたイベントを行うことで区民相互の交流と地域コミュニティの活性化を図るため優先度は高い。
町会役員表彰（地域振興 功労者表彰）	04-01-11	0	1,493	推進	推進	町会活動において他の模範となる者を表彰することにより、地域活動の振興に資することから優先度は高い。
区営掲示板維持管理費	04-01-13	5,010	5,072	継続	継続	区の事業を広く区民に周知し、コミュニティの活性化を図る事業であり、継続して実施する。
住居表示事務費（台帳整備・ 街区表示）	04-02-08	737	10,189	継続	継続	法令に基づく事務であり、正確な住居表示を保つため、継続して実施する。
荒川コミュニティカレッジ	05-02-21	20,779	5,633	重点的に推進	重点的に推進	区民が学びの成果を活かして主体的な地域活動に参加できるように学習する場として、重点的に推進する。

合 計	126,590	134,635
-----	---------	---------